

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 横浜丸魚株式会社
 コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,836	1.6	7	82.3	157	18.5	125	38.3
2019年3月期第2四半期	23,216	4.1	43	151.1	193	28.6	202	56.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 131百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 42百万円 (89.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.71	
2019年3月期第2四半期	28.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,657	12,460	70.6
2019年3月期	18,371	12,676	69.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,467百万円 2019年3月期 12,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				12.00	12.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.7	190	2.5	440	1.6	300	26.3	42.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,261,706 株	2019年3月期	7,261,706 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	194,572 株	2019年3月期	194,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,067,134 株	2019年3月期2Q	7,067,134 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

以上の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いている一方で、米中貿易摩擦の拡大や日韓関係の緊張の高まりなど懸念事項も多く、また10月からの消費増税による個人消費の低迷も予想され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、海洋環境の変化や、全国各地に災害をもたらした大型台風や豪雨等により、計画通りの集荷が出来ず、また、人手不足等による物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MMプラン4th Stage」の最終年度となります3年目にあたり、「原点復帰からの新たな挑戦」をテーマとし、市場としての役割を果たすべくグループ一丸の体制で邁進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,836百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ380百万円(△1.6%)の減収となり、また、第1四半期連結会計期間に在庫の評価損を計上したこともあり、売上総利益も減少いたしました。また、物流コストの増加等の要因もあり、営業利益は7百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ35百万円(△82.3%)、経常利益は157百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ35百万円(△18.5%)、それぞれ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ77百万円(△38.3%)の減益となりましたが、これは上記要因に加え、前第2四半期連結累計期間に固定資産譲渡に伴う固定資産売却益54百万円を特別利益に計上したことが要因であります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は17,978百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ184百万円(△1.0%)の減収となり、営業損失も66百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ14百万円(前年同期 営業損失51百万円)の減益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は4,681百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ196百万円(△4.0%)の減収となり、営業利益も20百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ23百万円(△52.9%)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は60百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円(△2.3%)の減収となりましたが、営業利益は43百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ0百万円(1.2%)の増益となりました。

(運送事業)

売上高は116百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ2百万円(2.0%)の増収となり、営業利益も8百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円(16.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、17,657百万円と前連結会計年度末に比べ714百万円減少しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少386百万円、時価評価等による投資有価証券の減少338百万円によるものであります。

負債は、5,196百万円と前連結会計年度末に比べ497百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少285百万円、未払法人税等の減少61百万円、投資有価証券の時価評価等に伴う繰延税金負債の減少116百万円によるものであります。

純資産は、12,460百万円と前連結会計年度末に比べ216百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の増加40百万円、その他有価証券評価差額金の減少263百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は2,001百万円と前連結会計年度末に比べ97百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおいては68百万円の収入となりました。この主な要因は、売上債権の減少421百万円、たな卸資産の増加53百万円及び仕入債務の減少295百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては64百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出29百万円、無形固定資産の取得による支出53百万円、投資有価証券の取得による支出41百万円及び投資有価証券の売却による収入59百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては101百万円の支出となりました。この主な要因は、リース債務の返済による支出17百万円及び配当金の支払額84百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月17日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,100	2,002
受取手形及び売掛金	4,344	3,958
商品及び製品	1,384	1,438
その他	82	65
貸倒引当金	△513	△508
流動資産合計	7,399	6,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,254	1,235
土地	1,714	1,714
リース資産(純額)	77	73
その他(純額)	86	92
有形固定資産合計	3,132	3,115
無形固定資産		
ソフトウェア	140	244
その他	12	11
無形固定資産合計	152	256
投資その他の資産		
投資有価証券	7,581	7,242
長期貸付金	7	7
破産更生債権等	484	459
その他	55	54
貸倒引当金	△442	△434
投資その他の資産合計	7,686	7,328
固定資産合計	10,971	10,701
資産合計	18,371	17,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,890	2,604
未払法人税等	81	20
引当金	52	44
その他	333	344
流動負債合計	3,358	3,014
固定負債		
退職給付に係る負債	555	524
資産除去債務	25	25
繰延税金負債	1,466	1,349
その他	288	282
固定負債合計	2,335	2,182
負債合計	5,694	5,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	7,602	7,642
自己株式	△107	△107
株主資本合計	9,439	9,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,252	2,988
その他の包括利益累計額合計	3,252	2,988
非支配株主持分	△14	△7
純資産合計	12,676	12,460
負債純資産合計	18,371	17,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	23,216	22,836
売上原価	21,542	21,181
売上総利益	1,673	1,655
販売費及び一般管理費	1,630	1,647
営業利益	43	7
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	138	144
その他	8	5
営業外収益合計	150	152
営業外費用		
支払利息	0	0
リース解約損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	0	3
経常利益	193	157
特別利益		
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	247	157
法人税、住民税及び事業税	45	25
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	44	25
四半期純利益	202	132
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	202	125

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	202	132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	△263
その他の包括利益合計	△160	△263
四半期包括利益	42	△131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42	△138
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	247	157
減価償却費	87	78
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	△30
受取利息及び受取配当金	△142	△147
支払利息	0	0
リース解約損	—	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△54	—
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	160	421
たな卸資産の増減額 (△は増加)	52	△53
仕入債務の増減額 (△は減少)	△207	△295
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15	△28
その他	27	△51
小計	96	32
利息及び配当金の受取額	119	123
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△29	△84
リース解約に伴う支払額	—	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	68
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74	△29
有形固定資産の売却による収入	141	—
無形固定資産の取得による支出	△44	△53
投資有価証券の取得による支出	△0	△41
投資有価証券の売却による収入	1	59
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△2	△0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	22	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△17	△17
配当金の支払額	△84	△84
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131	△97
現金及び現金同等物の期首残高	1,459	2,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,590	2,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	18,162	4,877	62	113	23,216	—	23,216
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,846	39	17	58	1,962	△1,962	—
計	20,009	4,917	79	172	25,178	△1,962	23,216
セグメント利益又は損失 (△)	△51	44	43	7	43	△0	43

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	17,978	4,681	60	116	22,836	—	22,836
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,794	30	17	61	1,903	△1,903	—
計	19,772	4,711	77	178	24,740	△1,903	22,836
セグメント利益又は損失 (△)	△66	20	43	8	7	0	7

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益△0百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。